

平成 2 年 12 月 15 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859)

小曾木の“東京炭礦”

おそらく、東京都内では唯一の炭礦であろう“東京炭礦”が小曾木 4 丁目にありました。現在はバス停名だけに残り、竪坑跡も今は跡形もなくなっていますが、昭和 35 年まで亜炭や泥炭を掘っていました。昭和 10 年ころからの、あの大陸への進出期から太平洋戦争敗北、その後の混乱期にかけて、その改革を背後から支え、操業していた、いわば影の立て役者でありました。今は関係者も少なくなり、やがては忘れ去られようとしています。次に関係するデータを記してみましょう。

期 間	経 営 者	採炭 品 種	用 途	販 路
昭和10年頃から13年頃まで	土 屋 勇	木質 亜炭	暖房燃料	一般販売
13年頃から21年頃まで	東亜亜炭(株)	〃	〃	昭和飛行機
22年6月～ 24年8月	小林伸太郎	〃	〃	〃
24年9月～ 30年8月	清水善右衛門	泥炭	固形肥料の 増量粘結	日本肥料(株)
30年9月～ 33年5月	大和礦業(株)	〃	〃	〃
33年6月	武蔵野炭礦	〃	〃	〃
〃	日豊礦業(株)	〃	〃	〃

◎ 礦 量

鉱量は現在の坑道の延長を炭層の状態及び地表調査によって、最小 2000 アールの確定区域が見られ、炭層の厚さは平均 1 メートルであるから、24 万トン埋蔵されているものと推測されています。

炭礦の現況

- ア 炭層の厚さ 平均 1 メートル
- イ 炭層の傾斜 竪坑付近は東方に 2 度位傾斜しているが、現存は傾斜はなくほとんど水平状態です。
- ウ 天盤の岩石 青色の砂岩で岩質は硬くないが重圧はなく、落盤の恐れはないが、1 メートル 20 センチ位の間隔で枠をいれています。
- エ 坑内ガス 爆発ガスは全然ありません。
- オ 坑内運搬 軌条を敷設して台車を使用、竪坑^{まさあげ}捲揚用のバケット 2 個を台車にして竪坑底まで運搬しています。

(文責 川鍋)